

第 249 回幹事会議事要旨

日 時 平成 29 年 7 月 28 日 (金) 14:30~17:30

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会長) 大西 隆

(副会長) 向井 千秋、井野瀬 久美恵、花木 啓祐

(第一部) 杉田 敦、三成 美保、小松 久男、藤原 聖子

(第二部) 長野 哲雄、大政 謙次、石川 冬木、福田 裕穂

(第三部) 相原 博昭、土井 美和子、川合 眞紀

(事務局長) 山本 茂樹

(事務局次長) 竹井 嗣人

(課長等) 小林 真一郎、小川 初治、西澤 立志、糸川 泰一、鈴木 孝介

審議事項等

1 前回議事要旨の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

(1) 提言「融合社会脳研究の創生と展開」について、脳と意識分科会の苧阪委員長及び松井先生より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(2) 提言「人類の活動範囲の拡大と持続性確保を支える設計科学の充実」について、フロンティア人工物分科会の川口委員長及び萩原委員より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(3) 提言「低炭素・健康なライフスタイルと都市・建築への道筋」について、低炭素・健康社会の実現への道筋と生活様式・消費者行動分科会の吉野委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(4) 提言「物性物理学・一般物理学分野における学術研究の振興のために」について、物性物理学・一般物理学分科会の伊藤委員長及び河野幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(5) 報告「子どもの放射線被ばくの影響と今後の課題—現在の科学的知見を福島で生かすために—」について、放射線防護・リスクマネジメント分科会の佐々木委員長及び神田幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(6) 提言「大学等における非密封放射性同位元素使用施設の拠点化について」について、放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会の柴田委員長及び神田副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(7) 報告「材料工学ロードマップのローリング社会インフラ、グリーン・エネルギー分野」について、材料工学ロードマップのローリング分科会の松宮委員長及び長井副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(8) 提言「大震災の起きない都市を目指して」について、大地震に対する大都市の防災・減災分科会の和田委員長及び東畑副委員長より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(9) 報告「多様で持続可能な復興を実現するために—政策課題と社会学の果たすべき役割—」について、東日本大震災の被害・影響構造と日本社会の再生の道を探る分科

会の吉原委員長及び町村幹事より説明があり、審議の結果、所要の修正を行うことを条件に承認した。

(10) 地区会議運営協議会委員の追加について決定することを承認した。

(11) 日本学術会議協力学術研究団体を指定することについて決定した。

(12) 6件のシンポジウム等の開催を決定した。

3 その他事項として、今後の幹事会及び総会の開催日程について確認が行われた。

4 以下の非公開審議が行われた。

(1) 連携会員候補者の選考について、連携会員の候補者を決定し、その任命を会長に求めることを承認した。

(2) ICSU及びISSC合併後の新組織設立総会の招致に関する検討委員会委員(特任連携会員)を決定した。

(3) 外部委員候補を推薦することを承認した。